

人間の記録



愛と感動の人間ドラマ。
ひたむきに生きた
日本人の自伝!

◎既刊、堂々の二〇〇巻達成!!

人間の記録

第Ⅱ期第7、8回配本
各全10巻

●体裁・四六判・上製・カバー製 ●各回 揃定価18,900円(揃本体18,000円+税)
●各巻定価1,890円(本体1,800円+税)

第Ⅱ期 第7回配本 全10巻 揃定価18,900円(揃本体18,000円+税) ISBN978-4-284-70055-9 2012.02					
181	植谷雄高	影絵の世界	186	具志堅用高	リングはぼくの戦場だ
182	榎本健一	喜劇こそわが命	187	星 新一	きまぐれ星のメモ
183	ミヤコ蝶々	おもろうて、やがて哀し。	188	野坂昭如	アドリブ自叙伝
184	岸田今日子	あかり合わせがはじまる	189	清水幾太郎	私の心の遍歴
185	森下洋子	バレリーナの情熱	190	土光敏夫	私の履歴書
第Ⅱ期 第8回配本 全10巻 揃定価18,900円(揃本体18,000円+税) ISBN978-4-284-70066-5 2012.03~2012.04					
191	美空ひばり	虹の唄	196	佐治敬三	へんこつ なんこつ
192	石井好子	思い出はうたと共に	197	唐 十郎	わが青春浮浪伝
193	岡本綾子	AYAKO-A LIFE STORY	198	水上 勉	わが六道の闇夜
194	川島芳子	動乱の蔭に	199	加藤唐九郎	自伝 土と炎の迷路
195	力道山	空手チョップ世界を行く	200	中原中也	その頃の生活/日記(一九三六年)他

愛蔵版詩集シリーズ 第Ⅰ~Ⅳ期 全40巻

<p>山羊の歌 中原中也 定価2,310円</p> <p>春と修羅 宮沢賢治 定価2,940円</p> <p>あこがれ 石川啄木 定価2,940円</p> <p>炎える母 宗左近 定価2,940円</p>	<p>二十億光年の孤独 谷川俊太郎 定価2,310円</p> <p>智恵子抄 高村光太郎 定価2,625円</p> <p>あこがれ 石川啄木 定価2,940円</p> <p>雪明かりの路 伊藤整 定価2,625円</p>	<p>愛の詩集 室生犀星 定価2,625円</p> <p>雲 山村暮鳥 定価2,310円</p> <p>測量船 三好達治 定価2,310円</p> <p>定本蛙 草野心平 定価2,310円</p> <p>夜明け前のさよなら 中野重治 定価2,310円</p> <p>わがひとに与ふる哀歌 伊東静雄 定価2,310円</p>	<p>蒼馬を見たり 林芙美子 定価2,310円</p> <p>若菜集 島崎藤村 定価2,625円</p> <p>どんたく 竹久夢二 定価2,310円</p> <p>殉情詩集 佐藤春夫 定価2,310円</p> <p>グダリスト新吉の詩 高橋新吉 定価2,940円</p> <p>Subaraku 西脇順三郎 定価2,310円</p>	<p>鮫 金子光晴 定価2,310円</p> <p>砂金 西條八十 定価2,625円</p> <p>死の淵より 高見順 定価2,625円</p> <p>死刑宣告 萩原恭次郎 定価2,625円</p>	<p>見えない配達夫 田中冬二 定価2,625円</p> <p>青い夜道 田中冬二 定価2,625円</p> <p>厄除け詩集 井伏鱒二 定価2,310円</p> <p>海潮音 上田敏 定価2,625円</p>	<p>小熊秀雄詩集 小熊秀雄 定価2,940円</p> <p>見えない配達夫 炭木のり子 定価2,310円</p> <p>無車詩集 武者小路実篤 定価2,940円</p> <p>月光とピエロ 堀口大学 定価2,310円</p> <p>幻方法 吉野弘 定価2,310円</p> <p>月夜とピエロ 堀口大学 定価2,310円</p>
--	--	---	--	---	---	---

日本図書センター
〒112-0012 東京都文京区大塚3-8-2
TEL.03-3947-9387 FAX.03-3947-1774
http://www.nihontosho.co.jp

取扱書店

日本図書センター

時代の流れの中に咲いた人生の記録。

本シリーズの特色

●幅広いジャンルの人物を収録

政治家・実業家から、芸術家・学者・俳優・棋士・歌手・スポーツマンなど教科書に取りあげられる事の少ない人物まで幅広い人々の自伝を網羅しています。

●その時代の歴史が理解できます

明治から、大正・昭和をはじめとして、平成の現在話題の人物までを収録しています。

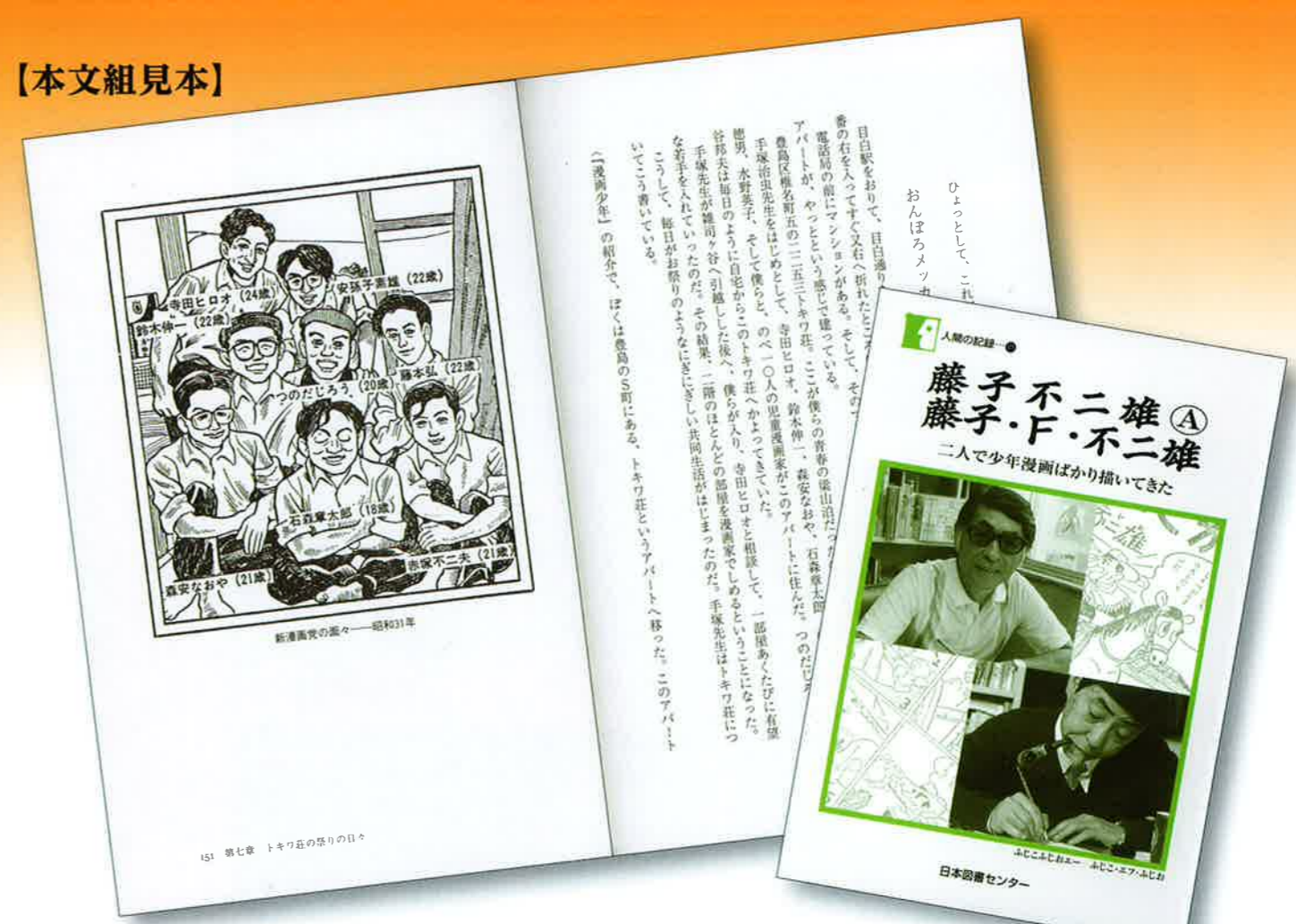
●世代を超えた読者対象

中学・高校生から大人まで、世代を超えて深い感動と共感を呼んでいる大反響の大河シリーズ。

愛読者の声

- 素晴らしいシリーズです。入手できる書店が少ないのがもったいない。岡潔の魅力が伝わってきました。
(34歳・主婦・高校職員／第54巻「岡潔」)
- 柔道を学んで、もっと師範の心を勉強していきたい。
(51歳・美術館員／第2巻「嘉納治五郎」)
- その生き方考え方に触れ、少しでも偉大な人物像に近づきたいと読み始めたなら、おもしろくて思わず読破してしまっただ。
(55歳・会社員／第10巻「松下幸之助」)
- この本は先生の口述がたくさんついていて直接先生に触れる思いがして温かく読みました。
(83歳・医師／第63巻「吉岡弥生」)
- 読み易く素直に書いています。宇治の平等院で目の前に先生が立っている姿を忘れられません。
(58歳・理容業／第75巻「今西錦司」)
- 小野田さんの当時の状況が詳しくわかり、とてもためになる。生きていこううちにお会いしたい。
(43歳・自営業／第109巻「小野田寛郎」)
- 現代の日本人全体が忘れていて、忘れてしまった日本人の暮らし、思想、苦勞などがよくわかります。風化させてはならない記録です。
(38歳・会社員／第129巻「宮本常一」)
- NHKの新八犬伝が大好きでなつかしく展覧会に出かけ、会場で迷わず購入。読みやすくおもしろく、心に響きました。
(44歳・主婦／第130巻「辻村寿三郎」)
- いつも自分の本ばかり買っている主人が、昔からのファンだった私のために書店で見つけてプレゼントしてくれました。
(38歳・販売員／第141巻「坂本九」)
- 輝かしい経歴の持ち主でありながら、まことに謙虚な筆運びに頭が下がりました。
(82歳・無職／第152巻「天野貞祐」)
- 毎日のように何かの形で文字にふれている生活なのですが、久し振りの格調高い文章・内容にただ感動のひとつことです。
(69歳・無職／第155巻「井上靖」)
- 前の古いものも同じのがあったんですが、改めて今のを買って読んでさらに面白く感じました。
(39歳・工員／第171巻「藤子不二雄A 藤子不二雄・F・不二雄」)
- 石津謙介さんの全体像がつかめました。別の著書では不明な点が、これでわかりました。
(56歳・コピーライター／第177巻「石津謙介」)
- 氏自身の人生の軌跡をたどりながら、氏の珠玉の人生訓を読破できるように編集されていて、まるでストーリー展開を楽しむ気持ちで学ぶことができる。
(63歳・大学教授／第180巻「曾野綾子」)
- 堂々たる理想の日本人を見る思いがします。虚飾を排し毀誉褒貶に動じない骨太き人格はさすがすごいものです。
(73歳・無職／第190巻「土光敏夫」)

【本文組見本】



本文と表紙の見本は第171巻「藤子不二雄A 藤子・F・不二雄」



本文と口絵の見本は第19巻「丸木俊」

※組見本は60%に縮小してあります。

一冊一冊に描かれる あらゆる分野のさまざまな人間ドラマ!



書齋にて寛く柳田国男
(第170巻)



シリーズ・人間の記録

大好評のシリーズ

- 第I期 第1回配本 全20巻**
 揃定価37,800円(揃本体36,000円+税) ISBN978-4-8205-4239-1
- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 田中正造 「田中正造講話」 | 11 中西悟堂 「かみなりさま」 |
| 2 嘉納治五郎 「私の生涯と柔道」 | 12 加藤シヅエ 「ある女性政治家の半生」 |
| 3 鳩山春子 「我が自叙伝」 | 13 棟方志功 「わだばゴッホになる」 |
| 4 牧野富太郎 「牧野富太郎自叙伝」 | 14 水谷八重子 「女優一代」 |
| 5 志賀 潔 「或る細菌学者の回想」 | 15 織田幹雄 「わが陸上人生」 |
| 6 金田一京助 「私の歩いて来た道」 | 16 淡谷のり子 「わが放浪記」 |
| 7 重光 葵 「外交回想録」 | 17 横山隆一 「わが遊戯的人生」 |
| 8 神近市子 「神近市子自伝」 | 18 古関裕而 「鐘よ鳴り響け」 |
| 9 矢内原忠雄 「私の歩んできた道」 | 19 丸木 俊 「女絵かきの誕生」 |
| 10 松下幸之助 「私の行き方考え方」 | 20 古橋廣之進 「力泳三十年」 |

- 第I期 第4回配本 全20巻**
 揃定価37,800円(揃本体36,000円+税) ISBN978-4-8205-4305-3
- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 61 白瀬 轟 「私の南極探検記」 | 71 徳川夢声 「放送芸術二十七年」 |
| 62 宮崎滔天 「三十三年の夢」 | 72 浅沼稻次郎 「私の履歴書ほか」 |
| 63 吉岡弥生 「吉岡弥生伝」 | 73 藤原義江 「満点七十五年 オペラと」 |
| 64 幣原喜重郎 「外交五十年」 | 74 藤原道子 「ひとすじの道に生」 |
| 65 新村 出 「わが学問生活の七十年/他」 | 75 今西錦司 「そこに山がある」 |
| 66 吉野作造 「閑談の閑談(抄)」 | 76 石垣綾子 「私の爪あと」 |
| 67 岩波茂雄 「岩波遺文抄」 | 77 岡本太郎 「鏡む・夢と誓い」 |
| 68 石田天海 「奇術五十年」 | 78 森繁久彌 「隙間からスキマ」 |
| 69 櫻山純三 「走れオンワード」 | 79 鴨居羊子 「私は馬に乗って下着をう」 |
| 70 南原 繁 「ふるさと」 | 80 相沢忠洋 「『岩窟』の発見 幻の旧石 |

- 第I期 第2回配本 全20巻**
 揃定価37,800円(揃本体36,000円+税) ISBN978-4-8205-4261-2
- | | |
|----------------------|------------------------|
| 21 前島 密 「前島密自叙伝」 | 31 木村秀政 「わがヒコキ人生」 |
| 22 徳富蘇峰 「蘇峰自伝」 | 32 人見絹枝 「炎のスプリンター」 |
| 23 新渡戸稲造 「幼き日の想い出/他」 | 33 湯川秀樹 「旅人」 |
| 24 鈴木貫太郎 「鈴木貫太郎自伝」 | 34 川喜田かほこ 「映画ひとすじに」 |
| 25 小林一三 「逸翁自叙伝」 | 35 家永三郎 「一歴史学者の歩み」 |
| 26 相馬黒光 「熱移」 | 36 升田幸三 「名人に香車を引いた男」 |
| 27 三浦 環 「お蝶夫人」 | 37 加太こうじ 「街の自叙伝」 |
| 28 荒畑寒村 「ひとすじの道」 | 38 乙羽信子 「どろんこ半生記」 |
| 29 西條八十 「唄の自叙伝」 | 39 板錦清隆 「板錦一代」 |
| 30 杉野芳子 「炎のごとく」 | 40 長嶋茂雄 「燃えた、打った、走った!」 |

- 第I期 第5回配本 全20巻**
 揃定価37,800円(揃本体36,000円+税) ISBN978-4-8205-4326-8
- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 81 高橋是清 「立身の経路」 | 91 サトウハチロー 「落第坊主」 |
| 82 留岡幸助 「自叙/家庭学校」 | 92 丸岡秀子 「ひとつの真実」 |
| 83 長岡半太郎 「原子力時代の曙」 | 93 古賀政男 「歌はわが友わが」 |
| 84 南方熊楠 「履歴書/他」 | 94 山本安英 「おりおりのこと」 |
| 85 松永安左エ門 「自叙伝 松永安左エ門」 | 95 双葉山定次 「相撲求道録」 |
| 86 正力松太郎 「悪戦苦闘」 | 96 中村寅吉 「栄光のゴルフ」 |
| 87 早川雪洲 「武者修行世界を行く」 | 97 猿橋勝子 「女性として科学者」 |
| 88 市川房枝 「舞臺運動と私/他」 | 98 山下 清 「山下清放浪日記」 |
| 89 東郷青児 「他言無用」 | 99 藤山寛美 「あほかいな」 |
| 90 徳川幹子 「わたしはロビンソン・クルーゾー」 | 100 手塚治虫 「僕はマンガ家」 |

- 第I期 第3回配本 全20巻**
 揃定価37,800円(揃本体36,000円+税) ISBN978-4-8205-4283-4
- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 41 沢沢栄一 「雨夜譚/沢沢栄一自叙伝(抄)」 | 51 奥むめお 「あけくれ」 |
| 42 五代尾上菊五郎 「尾上菊五郎自伝」 | 52 香川 綾 「栄養学と私の半生記」 |
| 43 三宅雪嶺 「自伝/自分を語る」 | 53 中村汀女 「汀女自画像」 |
| 44 羽仁もと子 「半生を語る」 | 54 岡 潔 「日本の心」 |
| 45 長谷川如是閑 「ある心の自叙伝」 | 55 古川ロッパ 「あちゃらか人生」 |
| 46 比嘉春潮 「沖縄の歳月」 | 56 若月俊一 「農村医療にかけた30年」 |
| 47 石橋湛山 「湛山回想」 | 57 丹下健三 「一本の鉛筆から」 |
| 48 松井須磨子 「牡丹刷毛」 | 58 藤城清治 「影絵はひとりぼっち」 |
| 49 米川正夫 「純・根・才 米川正夫自伝」 | 59 平山郁夫 「悠久の流れの中に」 |
| 50 浜田庄司 「薫にまかせて」 | 60 長峰ヤス子 「炎のように火のように」 |

- 第II期 第1回配本 全20巻**
 揃定価37,800円(揃本体36,000円+税) ISBN978-4-8205-5760-9
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 101 東山魁夷 「わが遍歴の山河」 | 111 菊田一夫 「芝居づくり四十年」 |
| 102 山田耕筰 「自伝 若き日の狂詩曲」 | 112 佐佐木信綱 「作歌八十二年」 |
| 103 横山大観 「大観面談」 | 113 沢村貞子 「貝のうた」 |
| 104 石牟礼道子 「樺の海の記」 | 114 添田啞蟬坊 「啞蟬坊生記」 |
| 105 内田吐夢 「映画監督五十年」 | 115 高群逸枝 「火の国の女の日記」 |
| 106 大賀一郎 「ハスと共に六十年」 | 116 十七世 中村勘三郎 「自伝 やっぱり博」 |
| 107 大山康晴 「人生に勝つ」 | 117 南部忠平 「南部忠平自伝」 |
| 108 岡田嘉子 「悔いなき命を」 | 118 六世 野村万蔵 「狂言の道」 |
| 109 小野田寛郎 「わがルパン島の30年戦争」 | 119 正木ひろし 「事件・信念・自伝」 |
| 110 亀井勝一郎 「わが精神の遍歴」 | 120 柳家金語楼 「泣き笑い五十年」 |



加藤唐九郎(第一九九巻)



具志堅用高(第186巻)



萱野茂(第165巻)と金田